

(2) 大腿骨頸部骨折連携パスの使用率

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部骨折骨接合術、大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術等を実施している場合に限る）に該当する退院患者数

収集期間：平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月

大腿骨頸部骨折の場合、急性期における治療が終了した後も、継続的な医学的管理とリハビリテーションが必要になります。患者さんによっては、在宅復帰のためにリハビリテーションケアの充実した回復期リハビリテーション病棟や亜急性期病床で継続的な医療を受ける場合もあります。大腿骨頸部骨折の患者さんに継続的な医療を提供するため、地域連携パスが作成されており、診療報酬上でもその利用が評価されています。本指標は大腿骨頸部骨折の退院患者のうち、どのくらいの患者さんが地域連携パスの対象となっているかを指標化することで、各病院の大腿骨頸部骨折治療における連携レベルを評価するものです

指標 23：大腿骨頸部骨折連携パスの使用率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	51	27	52.9%
080110205	水戸済生会総合病院	34	19	55.9%
096210115	済生会宇都宮病院	56		0.0%
110201350	済生会川口総合病院	2		0.0%
120210971	済生会習志野病院	30	16	53.3%
130314757	済生会中央病院	25		0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	21		19.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	36	20	55.6%
150120734	済生会新潟第二病院	46	22	47.8%
160115667	済生会富山病院	26	17	65.4%
160212605	済生会高岡病院	24		12.5%
170117068	済生会金沢病院	15		0.0%
180118909	福井県済生会病院	41	23	56.1%
224160042	静岡済生会総合病院	105	48	45.7%
240705053	済生会松阪総合病院	50	32	64.0%
251200194	済生会滋賀県病院	94	44	46.8%
269700129	済生会京都府病院	31		22.6%
271607149	済生会千里病院	45	29	64.4%
274205628	済生会茨木病院	11		0.0%
274900723	済生会富田林病院	10		0.0%
279600120	済生会野江病院	40	12	30.0%
285001538	済生会兵庫県病院	17		0.0%
290401062	済生会中和病院	24		0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	72	30	41.7%
350116357	済生会下関総合病院	56	40	71.4%
350310141	済生会山口総合病院	47		0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	48		6.3%
401719020	済生会二日市病院	68	46	67.6%
406619050	済生会八幡総合病院	45	15	33.3%
438211911	済生会熊本病院	169	121	71.6%
	合計	1339	578	43.2%